



CNHR Newsletter

CENTER FOR NATURAL HAZARDS RESEARCH, HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 広域複合災害研究センター

Vol.6 October 2021 – March 2022

■2022年度の組織体制

2022年4月1日付の人事異動をお知らせします。

- ▶専任教員(退任) 岡田成幸特任教授 (CNHR)
- ▶兼務教員(退任) 山下俊彦特任教授 (工学研究院)

退任のあいさつ

岡田成幸特任教授 ((一財)砂防・地すべり技術センター、アジア航測株式会社へ異動)

2022年3月末を以て、CNHRの任期を終了致しました。前身である「突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点」設立時から、さらにはその準備としての「学内防災担当者情報交換会」から数えると9年間の永きにわたりお付き合い頂き、誠に有り難うございました。これまで私の専門である地震防災を中心に据えた研究/教育構想に関わる発言が主でしたが、加えて今後は市町村自治体との関係性を活かし、防災技術の社会実装も視野に置きたいと思っております。4月からは招聘教員(客員教授)として勤務しております。一歩下がった立場ではございますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。

山下俊彦特任教授 ((一社)寒地港湾空港技術研究センターで6月15日から勤務)

令和3年度末をもって、工学研究院土木工学部門自然災害適応分野を定年退職し、6月15日より、(一社)寒地港湾空港技術研究センターで勤務予定です。CNHRでは、北海道の多様な災害、減災やその複合災害について、多くのことを勉強させていただき誠にありがとうございました。今後も、皆様方にはお世話になることが多くあると思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。最後に、CNHR並びに皆様方の益々のご発展をお祈り申し上げます。

■研究者紹介

田中 岳 (たなか がく)

工学研究院 土木工学部門 助教
広域複合災害研究センター 兼務教員

「互いが多文化・異文化に目を向け、相互に理解する共生の社会を構築する。」その目標の達成に、「防災」を柱とした教育や活動は、貢献できるものと考えています。そこでの課題を探り、教育や活動の内容、その方法を確立させて実践、評価することを目指しています。まだ始めたばかりです。ご興味ございましたら、是非、ご連絡をお願いします

(gakut@eng.hokudai.ac.jp)。



■活動報告

● 大学院共通科目「突発災害危機管理論」開講(終了)

CNHR所属教員と外部講師によるオムニバス形式で大学院共通科目「突発災害危機管理論」を開講しました(2021年10月7日~2022年1月20日)。コロナ禍ということもあり、一部オンライン講義を活用しながら全15回の講義を実施しました。

● 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に関する勉強会

北海道最大の脅威の一つである日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の発生メカニズム、被害想定のお考え、被害形態等の検討の動向について共有を図り、海溝型地震に伴う広域複合災害に係る研究シーズの掘り起こしを目的として、巨大地震による広域複合災害の発生形態、発災時の情報取得方法、減災・避難のあり方を議論する勉強会を開催しました。勉強会は今後も開催する予定です。

- ▶ 日時: 2022年3月29日(火) 15~16時
- ▶ 場所: オンライン開催
- ▶ 講師: 岡田成幸(CNHR)「概論・被害想定」

● 令和3年度活動報告書(自己点検評価報告書)刊行

令和3年度のCNHRの活動を取りまとめた活動報告書(自己点検評価報告書)を3月31日に刊行しました。報告書はCNHRの以下のwebサイトで閲覧できます。

<https://www.cnhr.info/annual-report>

● 大学院共通科目「国土保全学総論」開講

CNHR所属教員と非常勤講師によるオムニバス形式で大学院共通科目「国土保全学総論」を全15回(4月7日~7月14日、毎週木曜日)にわたって開講します。我が国の国土の成り立ちを踏まえ、国土保全と地域保全の重要性と必要性を講義し、実例に即して課題から解決策を導く過程を通して実践力のある人材の育成を図ります。講義の聴講を希望される方は事務局までご相談ください。

北海道大学 広域複合災害研究センター

〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目

Tel: 011-706-3882 Fax: 011-706-4695

Email: cnhr-unei@cen.agr.hokudai.c.jp

ホームページ: <https://www.cnhr.info/>

メンバー活動報告

名前	所属・役職	専門	最近の活動内容(研究課題など)
山田 孝	センター長 農学研究院・教授	砂防学	広域複合災害減災手法(特に、異種ハザードの重なる区域での災害シナリオと減災手法)、土砂・流木災害減災手法、土砂災害自衛工法、火砕流被害想定手法
井上 京	農学研究院・教授	農業土木学	低平地, 特に泥炭地における地盤沈下に関する研究
鮫島良次	農学研究院・教授	農業気象学	気候資源と農業生産に関わる研究
佐々木貴信	農学研究院・教授	木材工学	災害発生時の倒流木等の利活用に関する研究
笠井美青	農学研究院・准教授	砂防学	山地流域における災害後の地形変化の把握と予測
厚井高志	副センター長 広域複合災害研究センター・ 准教授	砂防学	火山噴火または地震に伴う大規模土砂生産イベント後の土砂・流木動態に関する研究
桂 真也	農学研究院・助教	砂防学	山地小流域における斜面内部の水循環および崩壊・地すべり発生予測に関する研究
泉 典洋	工学研究院・教授	河川工学	洪水時における河床変動とそれによる河床粗度の変化や河岸侵食・河道変動のメカニズム
萩原 亨	工学研究院・教授	交通工学	道路における暴風雪災害を防ぐため、CCTVカメラで補足できない区間や路線の視界を車載カメラから評価する技術を開発している。道路管理および他車への情報提供することを目的としている。
永田晴紀	工学研究院・教授	宇宙推進工学	小型深宇宙探査機用ハイブリッドキックモータの開発(本年度中にプロトタイプモデルの完成を目指しています)
江丸貴紀	工学研究院・准教授	ロボット工学・ 制御工学	・大規模フィールドの管理を目的とした非均一なUGV・UAV群によるロボスタSLAM ・港湾の維持管理を目的としたGNSSトラッカーの開発
戸谷 剛	工学研究院・教授	機械工学	超小型衛星の熱設計の研究を行っています。最近、超小型衛星用の乱水域検出センサーの研究開発を始めました。
山田朋人	工学研究院・准教授	水文学	・気候変動予測手法の開発と洪水リスク評価に関する研究 ・地球水循環システムと極端現象の解明に関する研究
田中 岳	工学研究院・助教	水文学	降雨流出系の確率応答解析に立脚した洪水予測システムの合理的な構築方法に関する研究
安成哲平	北極域研究センター・准教授	大気環境科学・ 雪氷学	北極域及び周辺域における森林火災及びその大気汚染発生の要因分析と予測に関わる研究。また、これらの健康・気候・経済的影響についての分野横断的研究。
石川達也	工学研究院・教授	地盤工学	気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害形態変化の体系化とそのリスク評価に関する研究
渡部要一	工学研究院・教授	地盤工学	火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性
橋本雄一	文学研究院・教授	人文地理学	地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究
青山 裕	理学研究院・教授	火山学	北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究
谷岡勇市郎	理学研究院・教授	地震学・ 津波学	広域津波災害軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSIに投稿する。
稲津 将	理学研究院・教授	気象学	数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究
高橋幸弘	理学研究院・教授	リモートセンシング・ 雷観測	超小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携の構築
丸谷 知己	名誉教授(北海道立 総合研究機構・理事)	砂防学	—
小山内 信智	客員教授(政策研究 大学院大学・教授)	砂防学	—
奥野 信宏	客員教授(名古屋 都市センター長)	公共経済学	—
今日出人	客員教授(株式会社ドーコン)	地域防災学	—
岡田 成幸	客員教授((一財)砂防・ 地すべり技術センター, アジア航測株式会社)	地震防災計画 学(建築系)	—
原田 和子	事務	—	—